

## 私立大学図書館協会2014年度第6回国際図書館協力委員会議事要録

- ・日 時 2015年2月20日(金) 14:25～16:50
- ・場 所 中部大学名古屋キャンパス 三浦記念会館502講義室
- ・出席者 齋藤和子(早稲田) 豊満朝子(明治) 山岸拓郎(専修)  
 蓑島智子(中部) 武山精志(立命館) 金 東澄(関西)
- ・事務局 山崎秀樹(関西) 濱生快彦(関西)
- ・配付資料
  - ・海外集合研修実施要領改正案の新旧対照表 ほか (資料1～5)
  - ・東西合同役員会への委員会報告メモ ほか (資料6～12)
  - ・2014年度国際図書館協力シンポジウム会計報告 (資料13～14)
  - ・2011年度～2012年度委員会委員の選出母体について (資料15～16)

### ・審議事項

#### 1 海外認定研修・二次締切り分の採択について

委員長より標記について、2月13日に申し込みを締め切ったところ、応募者がなかったことの報告があり、確認された。

#### 2 海外集合研修実施要領の改訂について

(資料1～5)

2014年2月21日開催の2013年度第7回国際図書館協力委員会・審議事項2により成案を得た標記要領の改訂案に関して、常任幹事会より、現行規定の3(4)にある「諸経費」について詳細に記述願いたいとの依頼が委員長にあった。これを受けて改訂案に次の文言を追加した委員長の私案の基づき12月5日開催の常任幹事会で協議した結果、概ね了承された。

委員長よりこれらの経緯について説明があり、本委員会で協議の結果、改訂案に次の文言を追加することを追認した。

改訂案に追加する文言

『また、本研修の企画時および実施時において、委員会が必要と認めた費用は協会側が負担する。』

なお本件は、3月6日開催予定の2014年度第2回東西合同役員会で協議・了承を得るべく、常任幹事会より提案される予定である。

#### 3 東西合同役員会への報告について

(資料6～12)

資料6～8(役員会用レジュメ)ならびに資料9～12(委員会活動報告2013年度～2014年度)を確認し、一部修正することになった。

### ・報告事項

#### 1 国際図書館協力シンポジウム会計報告について

(資料13～14)

委員長より資料に基づき次の報告があった。

- ・総経費約 140 万円。直近 3 回のシンポジウムの経費は最高額が約 190 万円、最低額が約 138 万円、平均 160 万円である。
- ・従前は、意見交換会への出席の如何を問わず参加者から一律にシンポジウム参加費を徴収していたが、本年は意見交換会参加費のみ徴収した。結果として意見交換会参加者は従前の 3 分の 1 になり、収入が減少した。
- ・講師の旅程は前日着・当日・遠足・離日の 3 泊 4 日で組んだ。

・懇談事項

1 委員長選出ローテーションについて

(資料 15～16)

委員長より標記について次の説明があり、種々懇談した。

- ① 委員選出ローテーションは 2002 年度第 5 回国際図書館協力委員会により決定されている。
- ② 委員長＝事務局は、東地区と西地区が交互に担当することが慣例となっている。
- ③ ①の東地区の委員選出ローテーションと②の慣例を組み合わせると、東地区の特定大学のみが委員長が当たってしまう条件が揃う。
- ④ 特定大学の負担が大きい場合は②の慣例に例外を設けて、西地区が連続して委員長＝事務局を担当すればどうか。

以上